

基本施策 F 7 自らすすめる健康づくりを推進します

主管課：健康づくり課

個別施策

F7-1 市民の自主的な健康づくり活動を支援します

F7-2 健康づくり環境の充実を図ります

F7-3 歯科口腔保健を推進します

ア 施策の目的

市民が心身ともに健康でいきいきと暮らしている。

イ 基本施策の評価

B c 目標をほぼ達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている

ウ 成果指標（「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標）

指標名	基準値 (時期)	区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
心身とも健康だと感じる市民の割合	64.8% (26年度)	↑	目標値	66.0	66.6	67.2	67.8	68.4	68.4
			実績値	61.9	60.3	61.3	62.1	62.1	59.8
			達成率	93.8%	90.5%	91.2%	91.6%	90.8%	87.4%
3大疾病による死亡率（人口10万人当たり）〔暦年〕※1	214.4 (25年)	↓	目標値	208.7	206.8	204.9	203.0	201.1	185.9
			実績値	190.8	193.6	192.1	195.0	186.9	179.6
			達成率	108.6%	106.4%	106.2%	103.9%	107.1%	103.4%
6024の割合※2	76.9% (26年度)	↑	目標値	77.7	78.1	78.5	78.9	79.3	79.3
			実績値	85.1	86.5	86.1	87.9	90.5	91.0
			達成率	109.5%	110.8%	109.7%	111.4%	114.1%	114.8%

※1 がん、心疾患、脳血管疾患による年齢調整死亡率（市統計により把握）

（年齢調整死亡率：観察集団と基準集団（昭和60年）の年齢構成の違いを考慮して補正した死亡率のこと。3大疾病は高齢になるほど死亡率が高く、高齢者の比率が高くなるほど死亡率も高くなるため、基準集団の年齢構成に調整して比較する。）

なお、R3年の目標値については、長崎市第四次総合計画の期間延長に伴う見直しの際に、R2年時点で目標を達成していたため、長崎市第五次総合計画の成果指標として、R2年の数値を基準値にR3年からR7年まで毎年1.0減を目標とする数値に合わせた。

※2 60歳で24本以上の歯がある人の割合

エ 評価結果の妥当性

本部会での議論を踏まえて考えると、評価結果については妥当であると判断する。

オ 審議会における政策評価に関する意見
なし

カ 審議会における施策推進に向けた提案

- (1)長崎市は観光都市であるが、市民が歩きたばこをしている姿を目にする。まちなかの禁煙ゾーンを明確にし、歩きたばこをしている人がいないようにしてほしい。
- (2)ラジオ体操の実施について、以前、健康づくり課からラジオ体操の周知のための旗をいただき、非常に効果的であった。他の地区にも広げてほしい。支援を継続してほしい。